

24 学校

【関連章第7章6】

事例1 「中学校の実験室から出火した火災」

出火時分 2月 6時ごろ
用途等 中学校 耐火造 3/0 延 4,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物部分焼 1棟 1 m²等焼損
概要

この火災は、中学校の実験室から出火したものです。

出火原因は、黒板消しクリーナの電源コードが、長年使用している間に配線被覆が損傷して心線が露出し、心線同士が接触し短絡したことにより出火したものです。

男性教員は、自動火災報知設備の鳴動音を聞き、受信盤が設置されている部屋に移動し、感知器の作動位置を確認しました。その後、現場に向かったところ、扉のガラス越しに背丈くらいの高さの炎が上がっているのを発見し、自身の携帯電話で119番通報を実施しました。

教訓等

長期間使用している機器等は、気が付かないうちに劣化している場合があります、定期的に点検を行うことが大切です。また、設置位置や使用方法などでも劣化するスピードが変化するため注意が必要です。

大掃除などの機会を捉え、定期的に点検を行うなど、工夫をしてリスクの軽減を図っていくことが、火災予防に繋がります。



写真 24-1 焼損した内壁



写真 24-2 復元状況